

みんなで



minnade

地域をみんなでデザインしよう



[特集]四街道で暮らし働く若い農業者たち

- ・ 地元の人にこそ食べてほしい～ふじ農園～
- ・ 牧草で未来をつくる～中央牧草センター～
- ・ カラーピーマンを四街道の特産品に～落合農園～
- ・ おいしい・おもしろい野菜をつくる～キレド～
- ・ お客様の笑顔がうれしい～稲坂なし園～

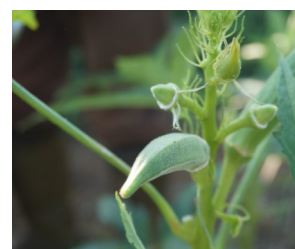
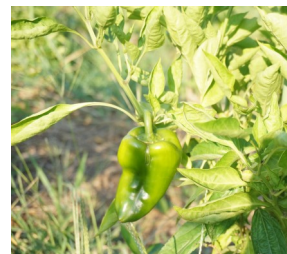
2014/11

第4号

四街道は東京のベッドタウンである一方、里山に恵まれた自然あふれる地域です。そんな自然を生かしつつ最近では若い農業者の方も増えてきています。みんなで地域づくりセンターでは、地元で農業者として生きる人々取材することで、四街道の新たな一面を紹介します。



(左) ちょっとシャイな
拓郎さん
(右上) ピーマン
(右下) オクラの赤ちゃん



地元の人にこそ食べてほしい

ふじ農園

大日、大作岡の開拓の地に、祖父がはじめた農業を、若くして父から引き継ぐことになった若者がいる。藤森拓郎さん。ピーマン、オクラ、ピーツなど、多品種の野菜を作っている。どれも無農薬、無化学肥料で栽培しているので、安心、そしておいしい。

収穫した野菜は、スーパーSantoku、イトヨーカドー、学校給食にも卸している他、家族で経営する「うどん屋麦（ばく）」で野菜のてんぷらにしたり、店の中でも販売したりとそのおいしさは大評判です。

畑は広々として、とても気持ちがいいのですが、一人で作業しているので、草取りまで手が回らないのが現状。また、天候にも左右されやすいのが苦労の一つと話してくれました。

作物が最初に収穫できたときは、とてもうれしいそうです。

畑の情報は拓郎さんのブログや「麦」のFacebookページで発信しています。種まき後の小さな苗や、みずみずしい野菜の写真が見られます。

「市民の方には、ぜひ地元の野菜を買ってほしいです。」と拓郎さん。若手農業者が四街道の農業を担っています。

うどん屋麦ーばく

場所 四街道市大日1021
電話 070-5363-7411
営業時間
11:00~14:30 (14:00L.O)
毎週月曜日、第1日曜日定休



ふじ農園

場所 四街道市大日1028-6
問合せ 070-5363-7411 (藤森)
生産品目 ピーマン、オクラ、ピーツ、なす
ブログ [http://](http://fujimoritakuro.blogspot.jp/)
fujimoritakuro.blogspot.jp/

牧草で未来をつくる

中央牧草センター



(左上) 2代目の増田城光さん

(左下) 手作りの看板

(右) トラクター大集合

「社会のため、子どもたちに夢と希望を与える会社」でありたい、と話すのは中央牧草センター2代目の増田城光さん。中央牧草センターは創業以来39年間、上野動物園、千葉市動物公園、中央競馬、地方競馬場、などへ無農薬有機質露地栽培にこだわった新鮮な生牧草を一年中休まず供給しています。

生牧草の畑は、ほとんどが耕作放棄地を再活用したものです。少子高齢化などの影響により農地の管理ができなくなってしまう土地所有者の代わりに、畑の管理保全を引き受けながら生牧草を育てています。ちなみに現在までにのべ4千ヘクタールの耕作放棄地を管理保全し、のべ8万トンの生牧草を栽培し、全国に供給しました。

「わく！食べてる食べてる！」納品後の調査をしに上野動物園へ行った時のこと。象たちが生牧草を食べている様子を見て子どもたちが大喜びではしゃいでいる姿を見た時、胸がいつぱいになり大きなやりがいを感したそうです。「自分たちが作っているのは草食動物にとって欠かせない健康食。1日も切らせないと休みはありません。しかしその先にあるのは人々の笑顔です。笑顔が見たいから今日も生牧草をつくります。」と話されました。

〈共通の理念を持つグループ〉

- * 株式会社中央牧草センター
- * NPO 法人
千葉・草原のこころファーム
- * 国際空手道円心会館 増田道場



株式会社中央牧草センター

場 所 四街道市大日2206 - 1

問合せ 043-423-7571

生産品目 生牧草

HP <http://c-bokuso.co.jp/>

カラーピーマンを四街道の特産品に



(上) ピーマンの世話をする落合啓晃さん



(右上) 出荷の様子 (右下) カラフルなピーマン

落合農園

カラーピーマンを知っていますか？
普段私達がよく口にする緑色のピーマンをさらに完熟させると、赤やオレンジ、黄色に色づきます。この緑以外の完熟ピーマンのことをカラーピーマンといいます。似たものにパプリカがありますが、両者の違いは、パプリカはカラーピーマンより大きくて肉厚である点です。

特産品生産協議会が主導して始まったカラーピーマンの栽培。現在は10軒ほどの農家が行っています。そのうちの1軒、大日の落合農園の後継者、落合啓晃さんにお話を伺いました。

住宅が農地を取り囲むように増加中の大日地区。典型的な近郊農業の落合農園では、イチゴやトマト、ブロッコリーなどを栽培しています。

カラーピーマンを栽培している農家は、それぞれが自分で納入先を持っていて、スーパーへ直接納めているそうです。「これからは消費者と直接触れ合える、顔の見える生産者として取り組んでいきたい」と抱負を語られました。

カラーピーマンはいろいろな料理に使われ始め、広く普及していくことが期待されます。四街道の特産品として認知されていくと良いですね。

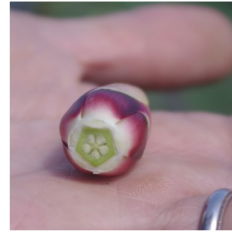
四街道市特産品生産協議会とは

四街道に何か特産となるものが作れないかと候補にあがったカラーピーマン。平成7年から16年までクリーンセンターの温室を使って試験栽培を行いました。その結果を四街道の気候にあっていることから、平成17年に農協内に協議会を設立、現在約10件の農家が参加しています。

落合農園

場 所 四街道市大日880
問合せ 043-422-4861
生産品目 カラーピーマン、イチゴ、ナス

おいしい・おもしろい野菜をつくる



(左上) キッチンカーと栗田夫妻

(左下) 畑でとれたオクラ

(右上) 切り口が美しい

(右下) キレドの畑



キレド

「おいしいおもしろい野菜づくり」
「キレド」はオーナーの栗田さんがサ
ラリーマン時代に金沢のフレンチレス
トランで珍しい野菜のおいしさに驚い
たところから始まります。そのレスト
ランに卸す農家の畑で大根をかじって
から野菜にめざめ、家庭菜園を開始。
その後四街道に戻って八街市のレスト
ラン向けの農家に弟子入りを志願、1
年半の研修後地元で独立しました。

現在は年間150種類の野菜を10世帯ほ
どにお届け。かじるだけでおいしい野
菜がレストランにしかいかないのはお
かしいと、主には家庭向けに野菜セッ
トを直送しています。野菜を作るかた
わら、自らキレドの野菜を使ったイタ
リアンランチ「キレドキッチン」を日
替わりシェフの店「さくらそう」など
で開店したり、キレドの野菜ならではの
ファストフードをキッチンカーで販
売したりと、さまざまな野菜の食べ方
やおもしろさを啓蒙しています。

畑を単に野菜を作る場所ではなく、
食を学んだり風景を楽しんだりする場
所と捉えることで畑を中心としたコ
ミュニティが生まれるのではないかと
畑のおもしろさも伝えることで野菜に
とどまらず畑のファンも生む農業、そ
れが「キレド」です。

キレドの意味

「うららか（麗らか）：太陽がのどかに照っている様子」

「よすが（寄処）：よりどころ、てがかり」という古い言葉の漢字からつけた造語です。

キレド

場所	非公開
問合せ	kurisatan@gmail.com
生産品目	約150種類の野菜
HP	http://www.kiredo.com/

お客様の笑顔がうれしい



(上) 自慢のなし園で



(右上) 美味しそう！四街道産です！

(右下) 出荷を待つ梨

稲坂なし園

梨農家を継いで3年目、可愛い4代目も生まれた、稲坂なし園の稲坂敏幸さんは、「もともとと若い方に四街道の梨を知っていただきたい」という思いで梨を栽培しています。

「四街道の梨は昔から美味しいと評判で贈答用にたくさんの方に利用していただいていたのですが、最近は地元の若い方に意外と知られていないのではないかと」と、JAのマイファームや市内のお店に出荷するほか、若い仲間と東京・勝どきの「太陽のマルシェ」へも出店しています。

1ヘクタールの畑で梨を作っている現在、おいしい梨を作るために「土づくり」と「枝の剪定」にこだわっています。

特に枝の剪定は「整枝・剪定」といわれるようにとても大切な作業です。寒い時期十二月から三月の作業なので、本当に寒くて辛いですが、「この梨が食べたい」と言って、毎年買ってくださいお客様がいることが仕事の喜びになっています。

これからも若手梨農家グループ「梨友会」の仲間と梨の栽培方法や品種などの勉強をしながら四街道市観光農園や果樹組合として四街道の梨や農業を元気にしていきたいと思っています。

* 四街道市果樹組合

現在は市内の梨農家13軒が加入しています。講習会を開いたり、産業まつりに出店しています。

* 梨友会（りゆうかい）

印旛全域の梨農家30軒が集まって、毎月1回梨の栽培や品種などについての勉強会を開いています。10代から30代の梨農園の後継者がメンバーです。

稲坂なし園

場所 四街道市大日2104

問合せ 043-422-0611

生産品目 梨

FBページ <https://www.facebook.com/nashienn?fref=ts>

四街道の美味しい農産物をたのしもう！

地元で採れた農産物を食べることで、地元で頑張っている農家を応援することができます。皆さんの近所のお店でも探してみてください。一部ですが扱っている店舗などをご紹介します。

JA千葉みらいマイファーム

農協直営の農産物直売所。近隣の新鮮野菜を扱っています。四街道産の梨をはじめ地元産が購入できます。

- 住所 四街道市内黒田356-3
- 電話 043-421-4846
- 営業時間 9:30～16:30（火曜定休）

朝市

四街道で採れた新鮮な野菜を生産者が直接販売する朝市。新鮮で安いと人気です。ほぼ毎週開催されていますが、産業まつり、ロードレース、年始はお休みです。

- 開催場所 四街道市役所 駐車場
- 開催時間 毎週日曜日 7:30～8:30
- 問い合わせ 043-421-6133
(四街道市産業振興課)

わくわく広場 四街道店

地元の農家の皆さんが丹精込めて育てた農産物を直接販売する直売所。新鮮・安心・低価格を大切にしています。

- 住所 四街道市大日299-1
- 電話 043-423-9072
- 営業時間 9:00～20:00

Santoku 四街道店

もねの里にあるスーパー。野菜売り場に四街道産野菜を扱うコーナーがあります。

- 住所 四街道市もねの里2-18-1
- 電話 043-304-3109
- 営業時間 AM9:30～PM22:00

イトーヨーカドー 四街道店

千葉県産の野菜コーナーや、顔の見える野菜として、産地や作り手がわかる野菜なども取り扱っています。

- 住所 四街道市中央5番地
- 電話 043-422-1111
- 営業時間 9:00～21:00

ナリタヤ食彩館 鷹の台店

県内のナリタヤで地元の農家から新鮮野菜を仕入れて販売しています。農業者の名前と顔写真を野菜と一緒に展示しています。

- 住所 四街道市鷹の台2-36-4
- 電話 043-236-1915
- 営業時間 9:00～21:00





団体の活動をサポートし、四街道で活動する人と一緒に地域をデザインします



利用できるサービス

- 地域づくりに関する相談に常駐のコーディネーターがお答えします。
- みんなのテーブル（ミーティングテーブル）が無料で利用できます。12名程度
- 団体の会報、チラシを置くことができます。
- 地域づくり、まちづくりに関する資料や書籍が閲覧できます

利用案内

利用時間

火曜日～金曜日 9:00～20:30
土曜日 9:00～17:00

休館日

日・月・祝日・年末年始
(月曜日祝日の場合は翌日火曜日休館)

所在地

千葉県四街道市大日396
四街道市文化センター1階

連絡先

TEL 043-304-7065
FAX 043-422-7051
Email info@minnade.org
ホームページ <http://minnade.org>
Facebook <https://www.facebook.com/yotsukaido.tiikidukuri>

みんなで地域づくりセンターは、地域づくり、まちづくりに関するさまざまな情報を広く集め発信し、団体と市民、行政機関をつなぎ市民みんなが関わる地域づくりを推進します。

「どんな街なら住みやすい？」

「地域の課題を解決するヒントは？」

自分の街のことを自分のこととして捉え、地域の問題や活動に関心のある方、どうぞ気軽にお立ち寄りください。

NPO・ボランティア団体はもちろん区・自治会、商・工・農業者、学校、文化サークル、スポーツ団体など、地域活動に関わっている市民、団体の情報を収集し提供します。

*みんなで地域づくりセンターは四街道市政策推進課の分室として2010年9月1日に開設されました。

センターでは地域の力を活かしながら、子どもからシニアまで、みんなが元気になる地域づくりを応援します。

そのために主に4つのことに取り組んでいます。ひとつは四街道で活動する人同士が、連携したり情報交換できるようにコーディネートします。次に、すでに活動を始めている方や団体にヒアリングをし、様々な相談に応じます。また、四街道でどんな取り組みがされているのか情報を集め、発信し市民の皆さんが利用できるように提供します。そしてセンター内のみんなのテーブル(ミーティングスペース)を貸し出したり、また団体活動に役立つセミナーを開催し、団体の活動を応援しています。

—編集後記—

取材を通して思ったよりたくさんの若い農業者の皆さんが、夢とポリシーを持って農業に取り組んでいることが伝わってきました。作り手が見えることで伝わる安心があります。知っていただいて食べていただいて、地元で応援していきたいと思います。

次号予告 2015年3月

[特集] 四街道の高齢者福祉の今